

【周防大島町】

ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校の割合

周防大島町立学校の10校（中学校2校、小学校8校）において、「学校のネットワーク改善ガイドブック（令和6年4月付け文部科学省）」（以下「ガイドブック」という。）に示された「当面の推奨帯域」（以下「推奨帯域」という。）を達成している学校の割合は次のとおりである。

（1）「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査（令和5年11月付け文部科学省調査）」の結果による評価

推奨帯域達成学校数 9校 推奨帯域達成率 90.0%

※簡易帯域測定結果を1.4倍した数値で評価。

※無線アクセスポイントに接続して通信帯域を測定しているが、電波干渉抑止を目的に出力制限をかけているため、120Mbps程度が計測値の上限となる。

（2）契約サービスから推定される通信速度による評価（令和6年度時点）

サービス分類	推定帯域	推奨帯域 達成学校数	推奨帯域 達成率
1 Gbps ベストエフォート	200Mbps	9校	90.0%

※複数校で計測したL3スイッチからの通信帯域を基準に推定帯域を設定している。

2 ネットワークアセスメントにより洗い出された課題

令和4年度に実施済みのネットワークアセスメント結果に加え、ガイドブックに基づくセルフチェックや随時帯域測定を実施した。その結果から、現在のネットワークの課題を次のとおり特定している。

課題1 離島の小学校はインターネット環境の改善は困難

課題2 アクセスポイントの位置によっては、接続不安定な学校がある

3 通信帯域確保に向けた対策案及び実施スケジュール

（1）離島の小学校はインターネット環境の改善は困難

離島の小学校のインターネット環境については今まで多数の検討を行ってきたが、海底ケーブルや大型鉄塔の存在が必要不可欠であり、現状は離島全体で携帯キャリアの電波も弱く、衛星インターネットもさほど良い数値を示さなかった。現在、離島全体での改善を検討中である。

(2) アクセスポイントの位置によっては、接続不安定な学校がある

学校内のアクセスポイントの位置によっては接続が不安定になったり接続できなかったりする学校が見受けられる。担当部署と連携し、今後老朽化したルーターの交換やアクセスポイントの設置位置変更などを進めていく。